

# 名誉会員 萩原 宏 博士を偲ぶ

富田 眞治

本会元理事／京都大学

萩原宏先生は、2014年1月8日に逝去されました。享年87歳でした。先生が2009年4月に瑞宝中綬章を受章された折に、詔書を渡すためお会いしたのが最後でした。当時はまだお元気でしたが、外出されるのは躊躇されており、中華料理店の蕪庵で開催するのが恒例になっておりました門下生有志での「萩原先生を囲む会」もその当時から休会になってしまいました。

萩原先生と私の最初の出会いは、1972年に京都大学情報工学科の坂井利之先生の研究室で音声多重合成システムの研究をしていた博士課程3回生のときに、坂井先生から「萩原君が半田付けのできる助手を探しているの、行ってみるか」とのお話があり、先生のところで面接を受けることになったときです。面談では本当に半田付けの話ばかりで、どんなことをしているのか、何をこれからしたいのか、着任後これをしなさいとかのお話は一切ありませんでした。先生は京都大学の最初のコンピュータシステムKDC-1(1958年計画発足)や東芝と共同開発されたマイクロプログラム制御で非同期コンピュータのKT-Pilot(1961年完成)などハードウェアシステムの研究開発(本会コンピュータ博物館「日本のコンピュータパイオニア参照」)を担当されてこられたこと、また、先生は当初は理論色の強い数理工学科の教授でしたから、情報工学科に移られてハードウェアのできそうな電気出身の若手が欲しかったのでしょう。幸せなことに以来一貫して自由放任にさせていただいてきました。

萩原先生は口数がきわめて少なく(お公家さんのようだという方もいました)、なかなかお話を継続するのが難しかったのですが、会話のなかで「ウフッ」と笑い声を出されるとホッとしたものです。また、ごく稀にですが胸にグサッとくる的確なお叱りをいただきました。たとえば、①会社に旅費の無心までして外国に出張し、論文発表をしたいのか、②大学は教育機

関であり、研究機関ではない、③僕は論文3編で教授になったが、君は尻もふけない紙ばかり書いている、④このような研究は京大助教授のすることではない、⑤毎年留学したいと言ってくるが、もう聞き飽きた。システムを完成してからにしたらどうだ、など。

萩原研究室での私の一大プロジェクトは1974年から12年も続けたQA-1/QA-2のコンピュータ開発でした。このコンピュータはIntel社のItaniumなどで商用化されたVLIW (Very Long Instruction Word) 方式のパイオニアともいえるものでした。12年かけて論文は20編でしたが、実に多くの人材が育ちました。

萩原先生は1980年頃から漢詩にご興味を持たれ、京都コンピュータ学院の教養科目や禅寺(建仁寺でしたか)で漢詩を講義されるほどでした。1999年(己卯)蕪庵での萩原先生を囲む会では、門下生全員に漢詩の色紙をいただきました。萩原先生の温かなお心を感じます。私がいただいたのは下記の漢詩です。

緑蔭黄梅大 青空翠竹覃

此君生直勁 幽趣適清談

己卯夏日 愚石

(りよくいん こうばい だいにして

せいこう すいちく ふかし

このきみ ちよくけいを しょうじ

ゆうしゅ せいだんに かなう)

大意：木陰には黄梅が咲きほこり、青空に向かって若い竹が長く伸びている。この竹はまっすぐな力強さを感じさせてくれ、その奥ゆかしい趣は清談をするにはぴったりだ(石田勝則氏(現京都コンピュータ学院教授)訳)。

先生の雅号は愚石で、また篆刻のご趣味もおありで、落款はお手製です。

2014年3月くしくも、萩原先生が関与されたKT-Pilotと京都大学QA-1が情報処理学会の「情報処理技術遺産」として認証されました。先生の墓前にご報告するとともに先生のご冥福をお祈りいたしたいと思えます。

(2014年1月20日)



## 御 略 歴

1926年6月27日 石川県金沢市生まれ  
1947年3月 旧制第三高等学校理科卒業  
1950年3月 京都大学工学部電気工学科卒業  
1950年3月 日本放送協会（NHK）大阪中央放送局技術部採用  
1952年6月 日本放送協会（NHK）技術研究所入所  
1957年11月 京都大学工学部助教授（数理工学科）  
1959年10月 工学博士の学位授与（京都大学）  
論文題目：「相関函数測定における遅延時間の揺ぎと雑音中の周期信号の検出」  
1961年12月 京都大学工学部教授「数理工学科計算機工学講座担任」  
1967年3月～1968年8月 京都大学大型計算機センター設置準備委員会委員  
1969年4月～1985年3月 京都大学大型計算機センター評議員  
1971年4月 京都大学工学部教授「情報工学科計算機システム講座担任」  
1980年2月～1982年1月 文部省学術国際局学術審議会専門委員  
1983年5月～1987年3月 文部省大学局大学設置審議会専門委員  
1990年3月 京都大学停年退官，京都大学名誉教授  
1990年4月～1995年3月 龍谷大学理工学部教授  
1995年4月～2008年3月 京都コンピュータ学院情報工学研究所長  
2004年4月～2008年3月 京都情報大学院大学学長  
2014年1月8日 逝去（87歳）

1960年4月 情報処理学会入会  
1969年4月～1971年5月 情報処理学会理事  
1975年5月 情報処理学会論文賞  
論文題目：「予測子を用いた Open Hash 法」  
1976年5月～1978年5月 情報処理学会理事  
1979年5月～1981年5月 情報処理学会関西支部長  
1982年5月～1984年5月 情報処理学会副会長  
1987年5月 情報処理学会論文賞  
論文題目：「ユニバーサル・ホスト計算機 QA-2 の低レベル並列処理方式」  
1991年5月～1993年5月 情報処理学会会長  
1994年5月 情報処理学会平成5年度功績賞  
1995年5月 情報処理学会名誉会員

### 受賞・栄誉

1982年10月 通商産業大臣表彰（情報化促進貢献）  
2009年4月 瑞宝中綬章

### その他の活動

1979年5月～1981年5月 電子通信学会評議員  
1987年7月～1989年6月 人工知能学会理事  
1994年7月～1997年7月 日本学術会議第16期会員（第5部）情報工学研究連絡委員会委員長  
1998年頃～2008年12月 日中友好漢詩協会副理事長